

◆歳出の概要

◆目的別経費の状況

(単位：千円)

款	平成23年度予算額	平成22年度予算額	比較	構成比 %	増減率 %
1. 議会費	525,383	402,810	122,573	1.0	30.4
2. 総務費	5,698,015	5,851,747	△153,732	11.1	△2.6
3. 民生費	17,110,346	15,204,573	1,905,773	33.3	12.5
4. 衛生費	3,981,028	3,591,308	389,720	7.8	10.9
5. 労働費	44,213	43,333	880	0.1	2.0
6. 農林水産業費	92,779	93,689	△910	0.2	△1.0
7. 商工費	913,268	933,738	△20,470	1.8	△2.2
8. 土木費	6,767,286	6,909,979	△142,693	13.2	△2.1
9. 消防費	1,979,163	1,981,005	△1,842	3.9	△0.1
10. 教育費	8,797,584	7,016,451	1,781,133	17.1	25.4
11. 公債費	4,903,650	4,892,995	10,655	9.5	0.2
12. 諸支出金	407,285	408,372	△1,087	0.8	△0.3
13. 予備費	100,000	100,000	0	0.2	0.0
合計	51,320,000	47,430,000	3,890,000	100.0	8.2

【主な増減理由】

◆議会費 122,573千円の増

主な増加要因は、地方議会議員年金制度の廃止に伴い、給付費の財源を地方自治体で負担することによる議員報酬及び手当等（119,539千円）です。

◆総務費 153,732千円の減

主な減少要因は、国指定統計調査（△84,189千円）、第65回国民体育大会開催事業（△152,588千円）、参議院議員選挙（△29,811千円）の他、8款土木費にコミュニティバス運行事業（△71,885千円）を移行したことによるものです。

一方、主な増加要因は、職員給与費（80,436千円）、市長・市議会議員選挙（71,340千円）の他、8款土木費から防犯灯事業（36,845千円）を移行したことによるものです。

◆民生費 1,905,773千円の増

主な増加要因は、国民健康保険特別会計繰出金（183,413千円）、介護保険特別会計繰出金（102,509千円）、生活保護費（549,902千円）、新総合福祉ゾーン複合施設整備事業（195,000千円）、障害者自立支援法に基づく給付事業（189,957千円）、こども園整備事業（684,297千円）、子ども手当支給事業（707,808千円）です。

一方、主な減少要因は、花の実園運営費（△54,772千円）、保育所耐震対策事業（△303,227千円）、若松保育所改築事業（△195,010千円）、児童手当支給事業（△170,913千円）です。

◆衛生費 389,720千円の増

主な増加要因は、茜浜一般廃棄物最終処分場用地管理事業（105,607千円）、予防接種事業（253,685千円）です。

◆商工費 20,470千円の減

主な減少要因は、緊急雇用創出事業（工業実態調査事業）（△14,218千円）、緊急雇用創出事業（観光情報のデータベース化と観光ガイドブックの作製事業）（△12,776千円）です。

一方、主な増加要因は、緊急雇用創出事業（観光情報の映像コンテンツ制作事業）（12,325千円）です。

◆土木費 142,693千円の減

主な減少要因は、公共下水道事業特別会計繰出金（△158,046千円）、京成実籾駅南口開発整備事業（△307,506千円）、3・4・11号線整備事業（△78,147千円）、近隣（防災）公園整備事業（△36,500千円）の他、2款総務費に防犯灯事業（△33,886千円）を移行したことによるものです。

一方、主な増加要因は、公共用地及び公共用代替用地取得事業（196,298千円）、J R津田沼駅南口周辺地域開発整備事業（65,888千円）、3・3・3号線整備事業（77,304千円）、緊急雇用創出事業（建築物データ及び指定道路図等電子化事業〈特定行政庁移行事業〉）（71,673千円）の他、2款総務費からコミュニティバス運行事業（61,934千円）を移行したことによるものです。

◆消防費 1,842千円の減

主な減少要因は、消防車両等整備事業（△70,200千円）です。

一方、主な増加要因は、消防救急無線整備事業（67,010千円）です。

◆教育費 1,781,133千円の増

主な増加要因は、津田沼小学校全面改築事業（754,062千円）、第一中学校グラウンド用地取得事業（1,516,748千円）、小学校施設改善整備事業（20,000千円）、中学校施設改善整備事業（22,000千円）、弓道場整備事業（18,800千円）、体育施設管理運営費（18,679千円）、放課後児童会運営費（16,237千円）です。

一方、主な減少要因は、小学校大規模改造事業（△367,900千円）、中学校大規模改造事業（△224,000千円）、芝園公園スポーツ施設整備事業（△43,749千円）、放課後児童会施設整備事業（△26,500千円）です。

◆性質別経費の状況

（単位：千円）

区 分	平成23年度				平成22年度		比 較	
	予算額 A	構成比 %	予算額の財源内訳		予算額 B	構成比 %	増減額 (A-B)=C	増減率 (C/B)%
			特定財源	一般財源				
1.人件費	11,587,691	22.6	1,152,603	10,435,088	11,604,994	24.5	△17,303	△0.1
2.物件費	9,929,122	19.4	2,429,919	7,499,203	9,539,331	20.1	389,791	4.1
3.維持補修費	223,362	0.4	26,534	196,828	221,508	0.5	1,854	0.8
4.扶助費	8,909,863	17.4	6,641,726	2,268,137	7,623,354	16.1	1,286,509	16.9
5.補助費等	1,495,912	2.9	233,371	1,262,541	1,496,230	3.1	△318	△0.0
6.公債費	4,900,540	9.5	523,743	4,376,797	4,889,870	10.3	10,670	0.2
7.普通建設事業費	7,398,664	14.4	5,356,440	2,042,224	5,346,849	11.3	2,051,815	38.4
うち事業費支弁人件費	177,853	0.3	0	177,853	178,228	0.3	△375	△0.2
内訳								
補助	3,609,505	7.0	3,456,365	153,140	2,038,952	4.3	1,570,553	77.0
単独	3,789,159	7.4	1,900,075	1,889,084	3,307,897	7.0	481,262	14.5
8.積立金	448,167	0.9	208,167	240,000	464,628	1.0	△16,461	△3.5
9.投資・出資金	7,159	0.0	2,000	5,159	5,550	0.0	1,609	29.0
10.貸付金	625,000	1.2	625,000	0	625,000	1.3	0	0.0
11.繰出金	5,694,520	11.1	291,295	5,403,225	5,512,686	11.6	181,834	3.3
12.予備費	100,000	0.2	0	100,000	100,000	0.2	0	0.0
歳出合計	51,320,000	100.0	17,490,798	33,829,202	47,430,000	100.0	3,890,000	8.2
投資的経費	7,398,664	14.4	5,356,440	2,042,224	5,346,849	11.3	2,051,815	38.4
経常的経費	41,513,198	80.9	11,299,191	30,214,007	39,612,000	83.5	1,901,198	4.8
義務的経費(1+4+6)	25,398,094	49.5	8,318,072	17,080,022	24,118,218	50.9	1,279,876	5.3
事業費支弁分を含む人件費	11,765,544	22.9	1,152,603	10,612,941	11,783,222	24.8	△17,678	△0.2

（注）経常的経費合計には性質区分繰出金のうち、国民健康保険特別会計繰出金、公共下水道事業特別会計繰出金、介護保険特別会計繰出金、後期高齢者医療特別会計繰出金及び後期高齢者医療広域連合負担金の一部を含む。

※事業費支弁分とは…普通建設事業の執行に必要な事務に係る人件費のことです。